

# 2018年3月期 決算説明会

---

2018年5月10日(木)



山田コンサルティンググループ株式会社

# CONTENTS

山田コンサルティンググループ全体組織	2
--------------------	---

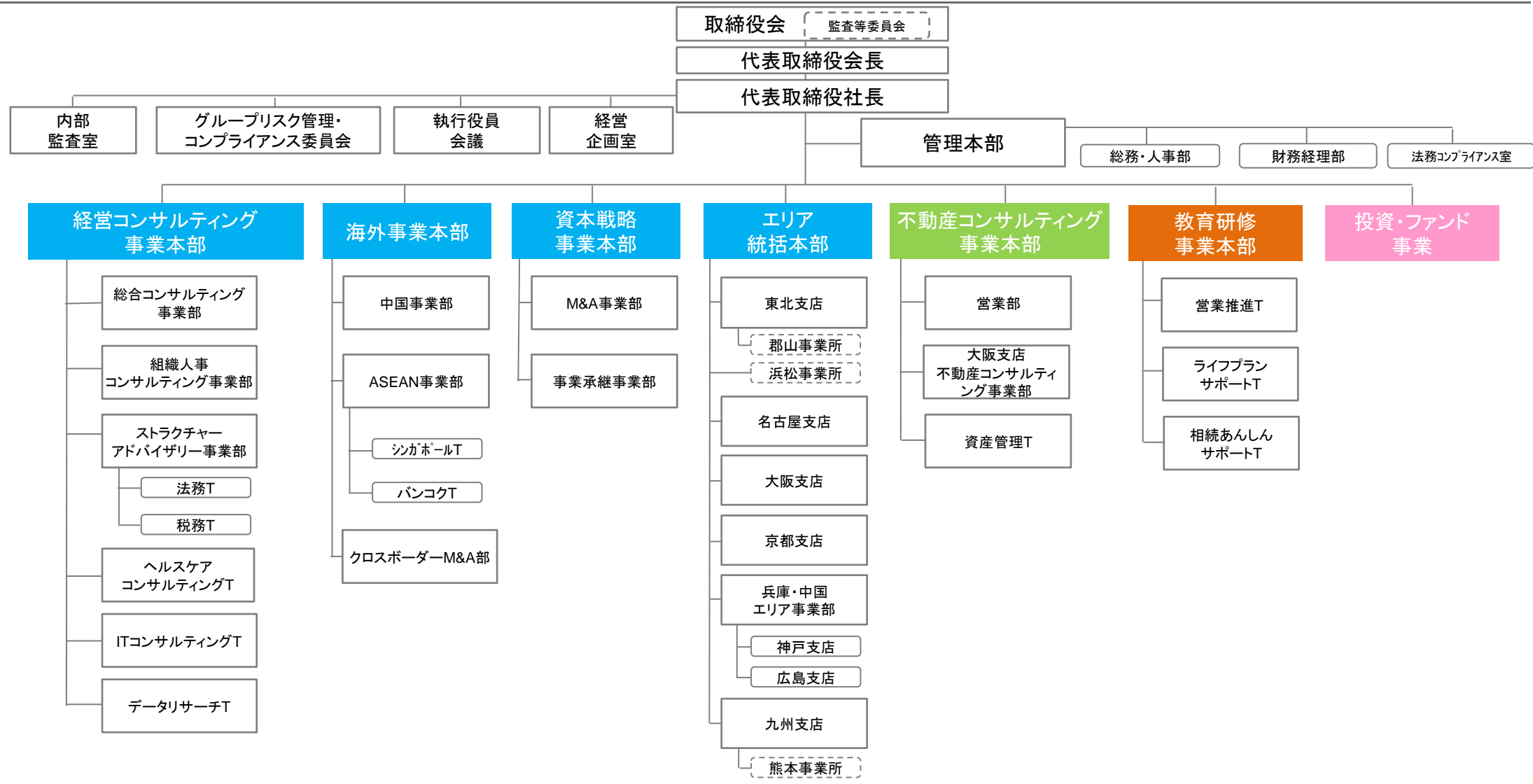
## 2018年3月期 通期決算概要 及び 2019年3月期 通期連結業績予想

1. 連結損益計算書概要	4
2. 通期決算のポイント	5
3. 連結業績推移	6
4. 連結貸借対照表概要	7
5. 2019年3月期 通期連結業績予想	8

## セグメント別 2018年3月期 通期決算概要 及び 2019年3月期 通期業績予想

1. セグメント別損益状況	10
2. 経営コンサルティング事業	11
3. 不動産コンサルティング事業	17
4. 教育研修事業(FP関連事業)	19
5. 投資・ファンド事業	21
6. リスク情報	23

# 山田コンサルティンググループ全体組織(2018年4月1日現在)



- |               |   |                         |  |                        |
|---------------|---|-------------------------|--|------------------------|
| <p>グループ会社</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Spire Research and Consulting Pte. Ltd.(シンガポール)</li> <li>YAMADA Consulting &amp; Spire (Thailand) Co., Ltd.(タイ現地法人)</li> <li>YC Capital Co., Ltd.(タイ現地法人)</li> <li>山田商務諮詢(上海)有限公司(上海現地法人)</li> </ul> | <p>(株)プラトン・コンサルティング</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>山田ファイナンシャルサービス(株)</li> <li>相続あんしんサポート(株)</li> </ul> | <p>キャピタルソリューション(株)</p> |
|---------------|---|-------------------------|--|------------------------|

# 2018年3月期 通期決算概要 及び 2019年3月期 通期連結業績予想

---

## 1. 連結損益計算書概要

単位:百万円

	2017年3月期 連結実績	2018年3月期 連結実績	増減額	増減率	2018年3月期 連結業績予想	達成率
売上高	10,794	13,110	+2,315	+21.4%	12,000	109.2%
売上原価	1,322	1,903	+581	+43.9%	—	—
売上総利益	9,472	11,206	+1,734	+18.3%	11,000	101.8%
販管費	7,217	8,289	+1,072	+14.8%	—	—
営業利益	2,255	2,917	+661	+29.3%	2,900	100.5%
経常利益	2,304	2,880	+575	+24.9%	2,910	98.9%
税引前 当期純利益	2,294	2,856	+562	+24.5%	—	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,514	1,852	+337	+22.2%	1,850	100.1%

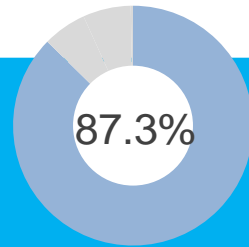
## 2. 通期決算のポイント

### 総括

- 不動産コンサルティング事業が通期計画数値未達であったが、経営コンサルティング事業及び教育研修事業（FP関連事業）の業績が計画数値を上回ったため、全体としては増収増益

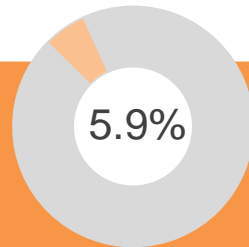
※円グラフは2018/3期通期連結累計のセグメント別売上高構成比

### 経営 コンサルティング事業



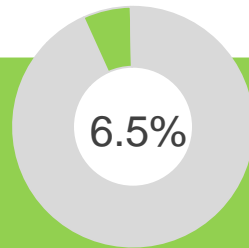
- M&A関連売上を中心に事業承継コンサルティング、事業成長コンサルティングがそれぞれ順調に推移し、増収増益

### 不動産 コンサルティング事業



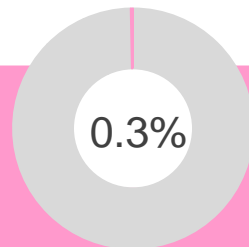
- 大型案件の受注が減少、顧客紹介手数料が生じる案件が増加
- 減収減益、通期計画数値も未達

### 教育研修事業 (FP関連事業)



- FP資格取得講座・実務研修の受注増加、確定拠出年金(DC)関連研修の増加から、増収増益

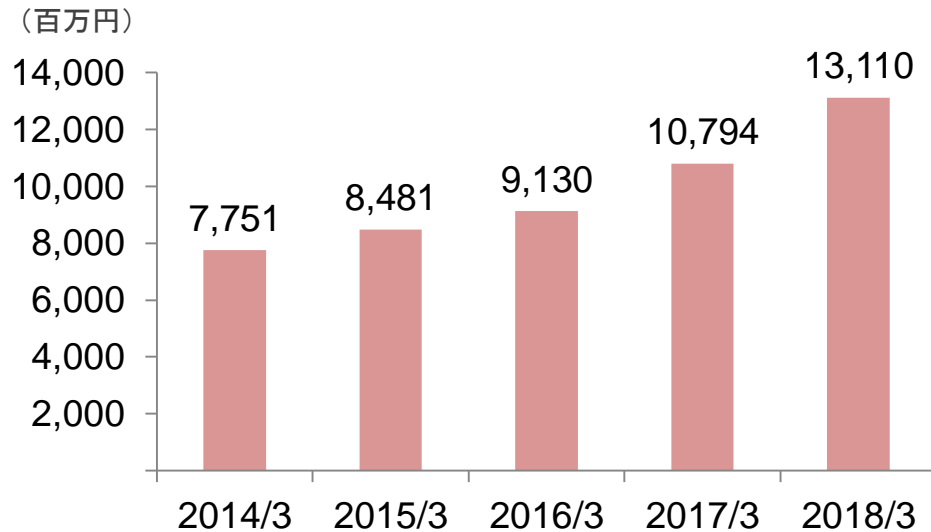
### 投資・ファンド事業



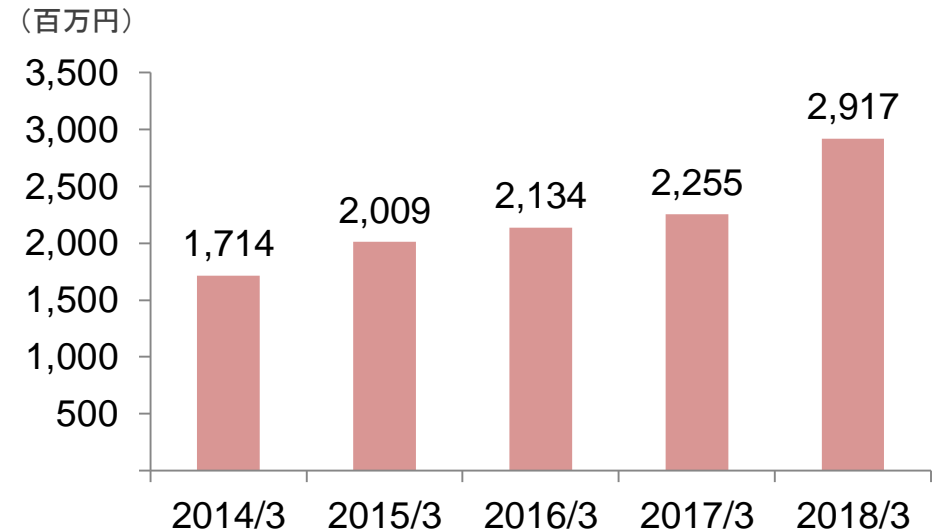
- 投資回収案件がなく減収減益

### 3. 連結業績推移

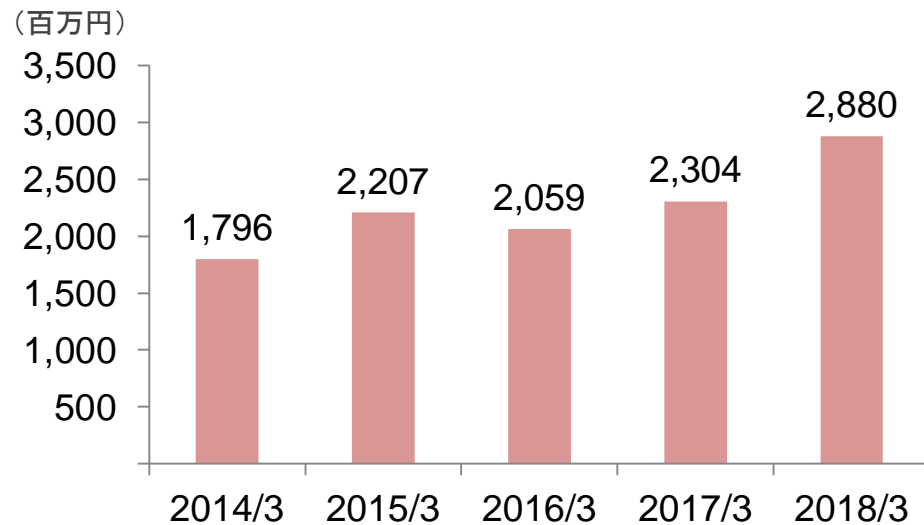
#### 売上高



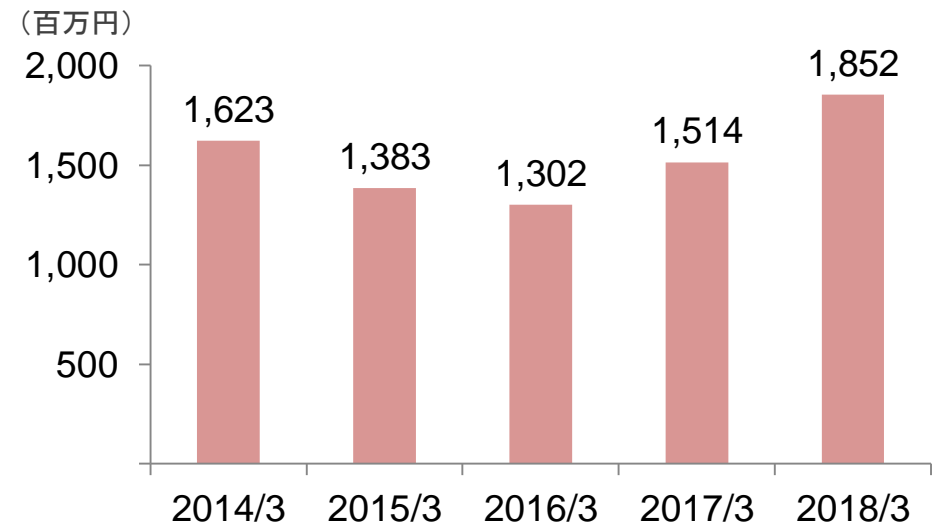
#### 営業利益



#### 経常利益



#### 親会社株主に帰属する当期純利益



## 4. 連結貸借対照表概要

単位:百万円

		2017年 3月期末	2018年 3月期末	増減額
資産の部	流動資産	9,323	10,710	+1,386
	固定資産	2,399	2,515	+116
	有形固定資産	474	454	△20
	無形固定資産	468	406	△62
	投資その他資産	1,456	1,654	+198
<b>資産合計</b>		<b>11,723</b>	<b>13,225</b>	<b>+1,502</b>
負債の部	流動負債	2,036	2,327	+290
	固定負債	53	62	+8
	<b>負債合計</b>	<b>2,089</b>	<b>2,389</b>	<b>+299</b>
純資産の部	資本金	1,599	1,599	-
	資本剰余金及び利益剰余金	8,544	9,708	+1,163
	自己株式	△532	△528	+4
	<b>株主資本合計</b>	<b>9,612</b>	<b>10,780</b>	<b>+1,168</b>
	その他の包括利益累計額	△26	△27	△0
	新株予約権	1	6	+4
	非支配株主持分	46	76	+30
<b>純資産合計</b>	<b>9,633</b>	<b>10,836</b>	<b>+1,203</b>	
<b>負債純資産合計</b>		<b>11,723</b>	<b>13,225</b>	<b>+1,502</b>



## 5. 2019年3月期 通期連結業績予想

単位:百万円

	2018年3月期通期 連結実績	2019年3月期通期 連結業績予想	増減率(%)
売上高	13,110	15,000	+14.4%
営業利益	2,917	3,250	+11.4%
経常利益	2,880	3,250	+12.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,852	2,120	+14.4%
	2018年3月期配当実績	2019年3月期配当予定	増減額
1株当たり配当額	41.75円 (第2半期末18.75円、期末23円)	46円 (第2四半期末23円、期末23円)	+4.25円

※2017年10月1日付1:4株式分割考慮後の1株当たり配当額

- ◆ 多様化する顧客のコンサルティングニーズに対してシームレスかつワンストップに応えるため、2018年4月1日に事業子会社を吸収合併し、経営統合  
⇒経営資源の有効活用、業務効率の向上等のシナジーを見込む
- ◆ 経営コンサルティング事業は、M&A・事業承継・事業成長コンサルティング各々が順調に拡大すると見込む
- ◆ 不動産コンサルティング事業は、組織体制・営業体制の見直しを速やかに進めることにより、業績の確保を目指す
- ◆ FP関連事業は、主要顧客である金融機関の社員教育ニーズが引き続き高い状況にあるため、順調な業績確保を見込む
- ◆ 投資・ファンド事業は、投資株式の売却損益を見込む

セグメント別  
2018年3月期 通期決算概要  
及び 2019年3月期 通期業績予想

---

# 1. セグメント別損益状況

売上高 (百万円)	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率
経営コンサルティング事業	9,195	11,521	+2,326	+25.2%	10,300	111.8%
不動産コンサルティング事業	806	778	△28	△3.5%	1,000	77.8%
教育研修事業(FP関連事業)	667	852	+184	+27.6%	730	116.7%
投資・ファンド事業	181	40	△140	△77.7%	—	—
セグメント間取引消去	△55	△81	△26	—	△30	—
合 計	10,794	13,110	2,315	+21.4%	12,000	109.2%

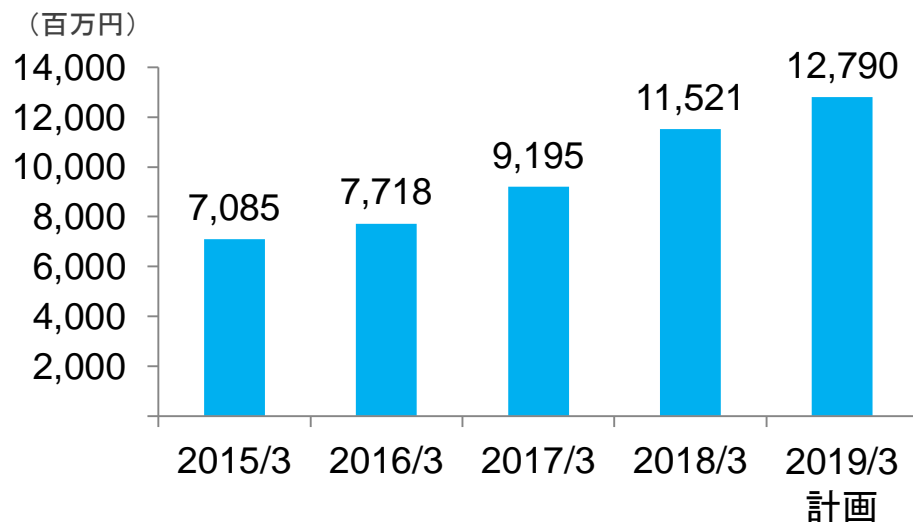
営業利益 (百万円)	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率
経営コンサルティング事業	1,868	2,603	+734	+39.3%	2,540	102.5%
不動産コンサルティング事業	272	158	△113	△41.6%	305	52.0%
教育研修事業(FP関連事業)	37	144	+106	+283.8%	55	262.5%
投資・ファンド事業	74	8	△66	△88.4%	—	—
セグメント間取引消去	1	1	—	—	—	—
合 計	2,255	2,917	+661	+29.3%	2,900	100.5%

## 2. 経営コンサルティング事業 — 通期実績 —

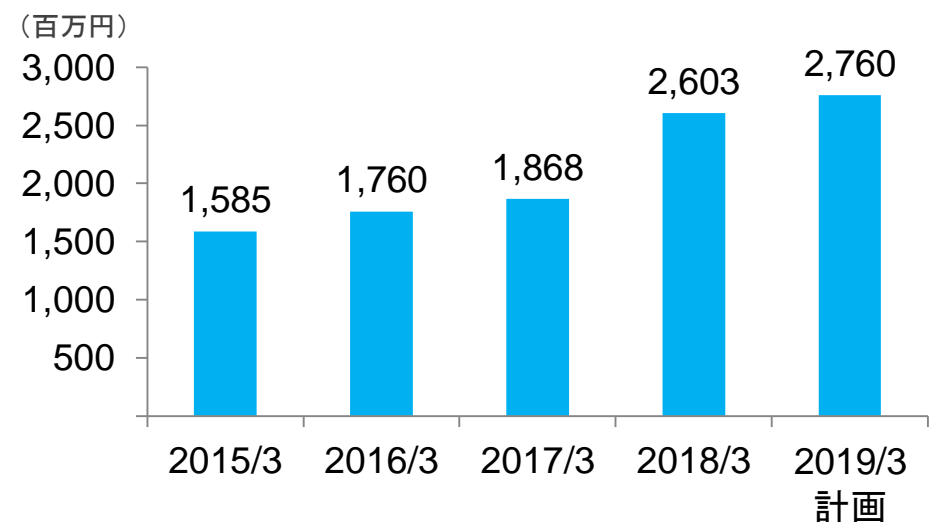
単位: 百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2019年3月期 業績予想 (計画)
売上高	9,195	<b>11,521</b>	+2,326	+25.2%	10,300	<b>111.8%</b>	<b>12,790</b>
売上総利益	8,396	<b>10,164</b>	+1,767	+21.0%	9,836	<b>103.3%</b>	<b>11,260</b>
営業利益	1,868	<b>2,603</b>	+734	+39.3%	2,540	<b>102.5%</b>	<b>2,760</b>

### 売上高



### 営業利益



人員	453名	482名	627名	715名

## 2. 経営コンサルティング事業 – 通期実績状況及び業績予想 –

### <通期実績の状況>

- ◆ M&A・事業承継・事業成長コンサルティング各々が順調であったことから、増収増益
- ◆ 2017年7月に経営コンサルティング事業と資本・株式・株主に関するコンサルティング事業を統合したことにより、M&A関連業務を中心に効率化が進む。M&A関連売上高は3,450百万円(79件)

※前年度のM&A関連売上高:2,554百万円(64件)

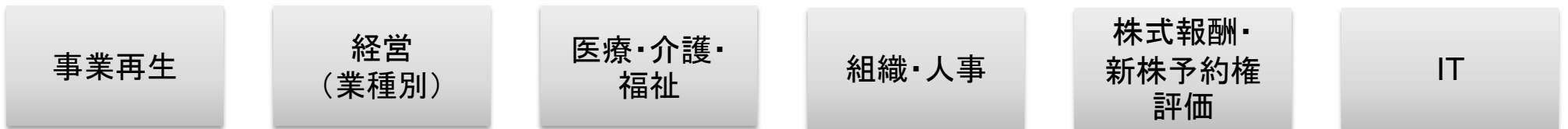
### 通期業績予想及び重点施策

- M&A・事業承継・事業成長の各コンサルティングのニーズが引き続き高い状況にあることから、順調な業績確保を見込む  
2019年3月期は売上高12,790百万円、営業利益2,760百万円を計画
- コンサルティングの顧客基盤に、M&A、海外、IT等のサービスをシームレスかつワンストップに提供  
⇒総合コンサルティングファームとして進化
- 特徴あるM&A・事業承継コンサルティング事業を拡大展開  
⇒第三者への承継である M&A 以外の方法(親族内承継、役員・従業員への承継(MBO))にも対応
- メガバンク・地域金融機関への出向による人材交流を深める等、金融機関との更なる連携強化により案件発掘の基盤を拡大
- 金融機関からの顧客紹介によりサービスを提供するB to B to Bのビジネスモデルに加え、直接顧客へサービスの提供を行うB to BまたはB to Cのビジネスモデルを強化  
⇒ 広告宣伝、セミナーの強化による社会認知の向上を目指す
- 海外コンサルティングの基盤構築・早期事業化  
⇒海外子会社及び業務提携先の機能・ネットワークを最大限活用、国内のコンサルティング機能との融合

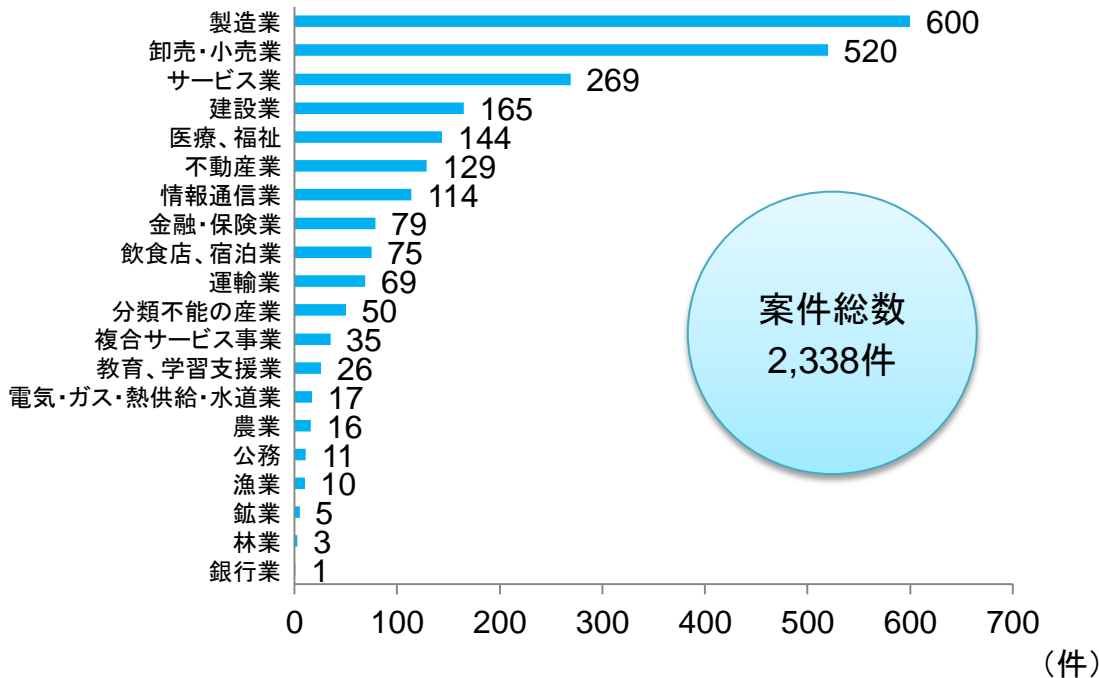
## 2. 経営コンサルティング事業 - 業種別・機能別コンサルティング -

- 多様なコンサルティングのサービスラインで、顧客ニーズに対応
- 幅広い顧客層に対してコンサルティング業務を提供

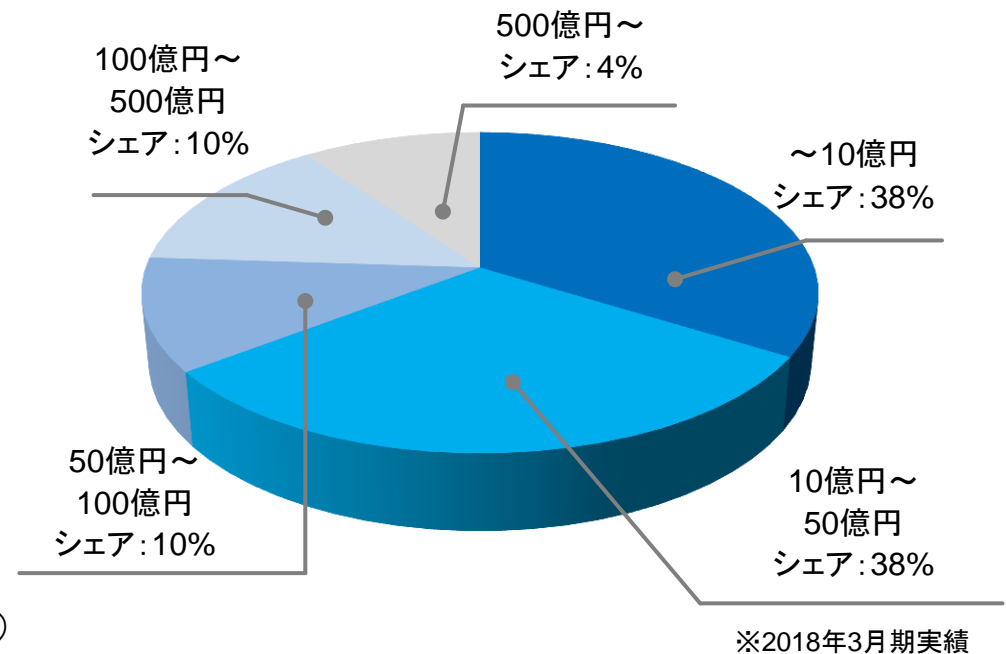
### サービスラインナップ



クライアント業種別の実績件数(2018/3月期)



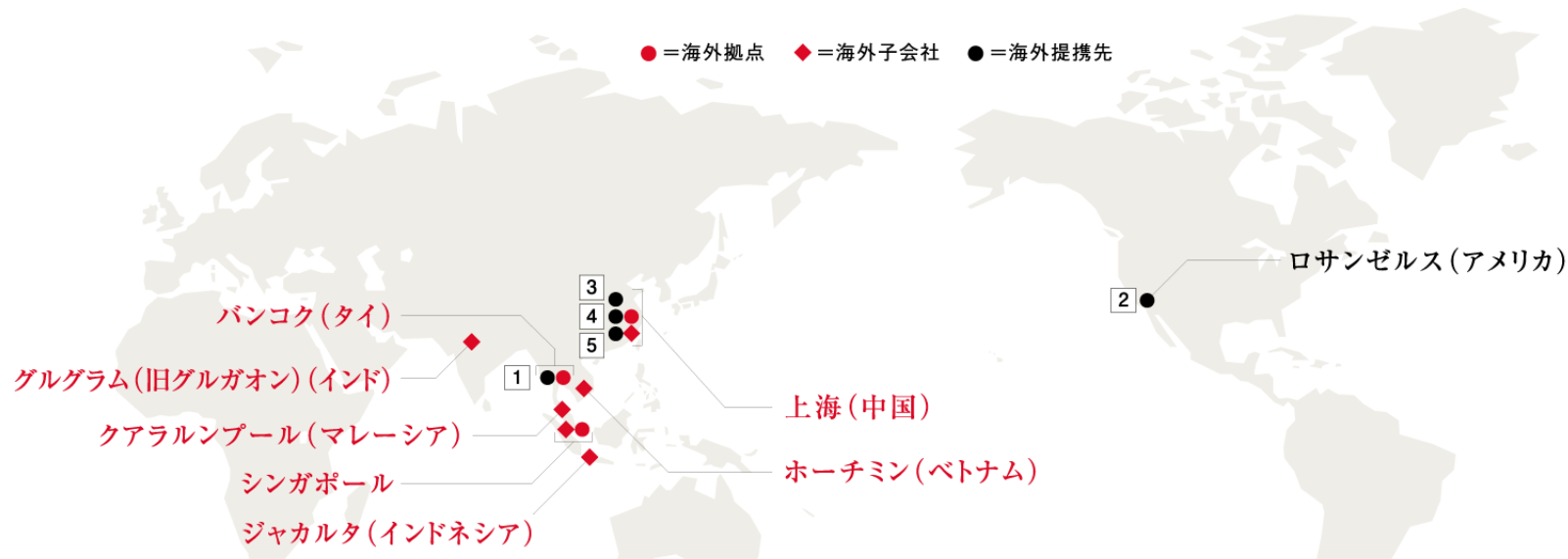
クライアント売上規模別の契約件数構成比



## 2. 経営コンサルティング事業 – グローバル対応 –

- 海外拠点を拡大、国内コンサルティングの顧客基盤に海外関連役務を提供
- 中堅中小企業のグローバルニーズに対応できる唯一のファーム

### グローバルネットワーク



#### ●海外提携先

- 1 東洋ビジネスサービス株式会社
- 2 Takenaka Partners LLC
- 3 BEXUCO(Shanghai) Investment Consulting Co.,Ltd.
- 4 北京大成(上海) 律師事務所
- 5 上海外聯発商務諮詢有限公司

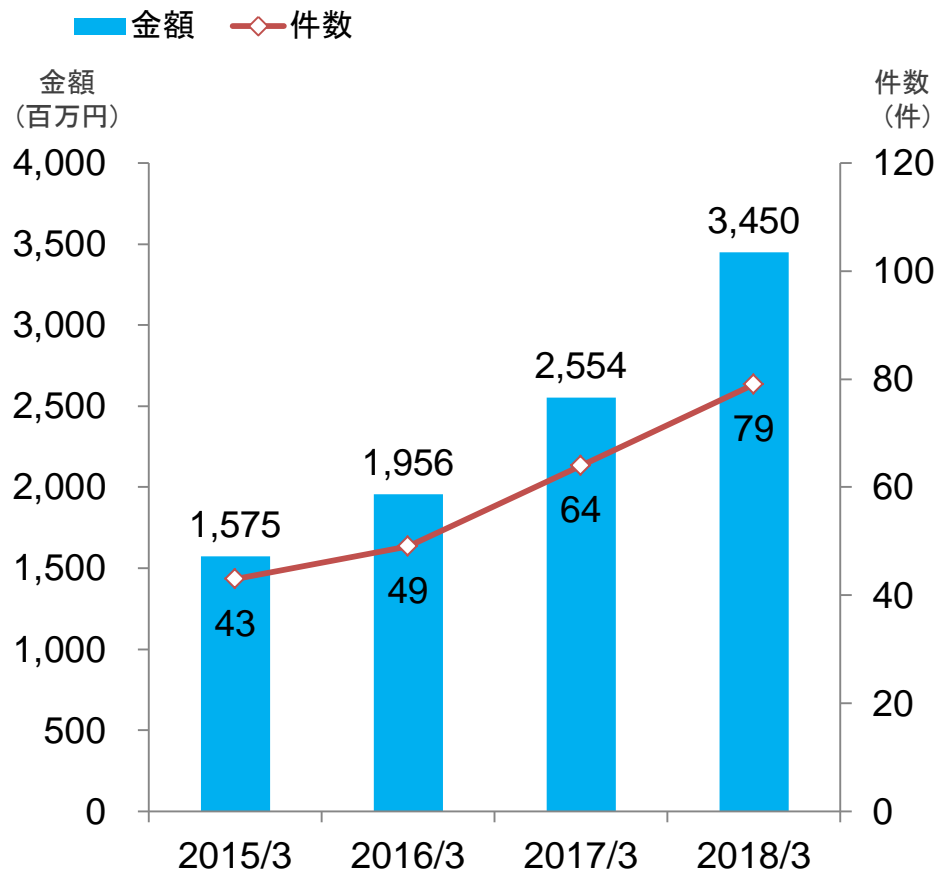
#### 海外拠点沿革

2011年7月	シンガポール支店開設
2012年7月	山田商务咨询(上海)有限公司(上海)を設立
2016年4月	Spire Research and Consulting Pte. Ltd.(シンガポール)を子会社化
2016年10月	タイにYBC&Spire(Thailand)Co.,Ltd.を開設
2016年12月	Takenaka Partners LLC(ロサンゼルス)と業務提携
2016年12月	東洋ビジネスサービス株式会社(タイ)と業務提携
2017年6月	東洋ビジネスサービス株式会社(タイ)へ資本参加
2017年6月	BEXUCO(Shanghai)Investment Consulting Co.,Ltd.(上海)への資本参加及び業務提携
2017年6月	YC Capital Co.,Ltd.(タイ)を設立
2018年6月	ホーチミン(ベトナム)、ジャカルタ(インドネシア)に拠点を開設予定

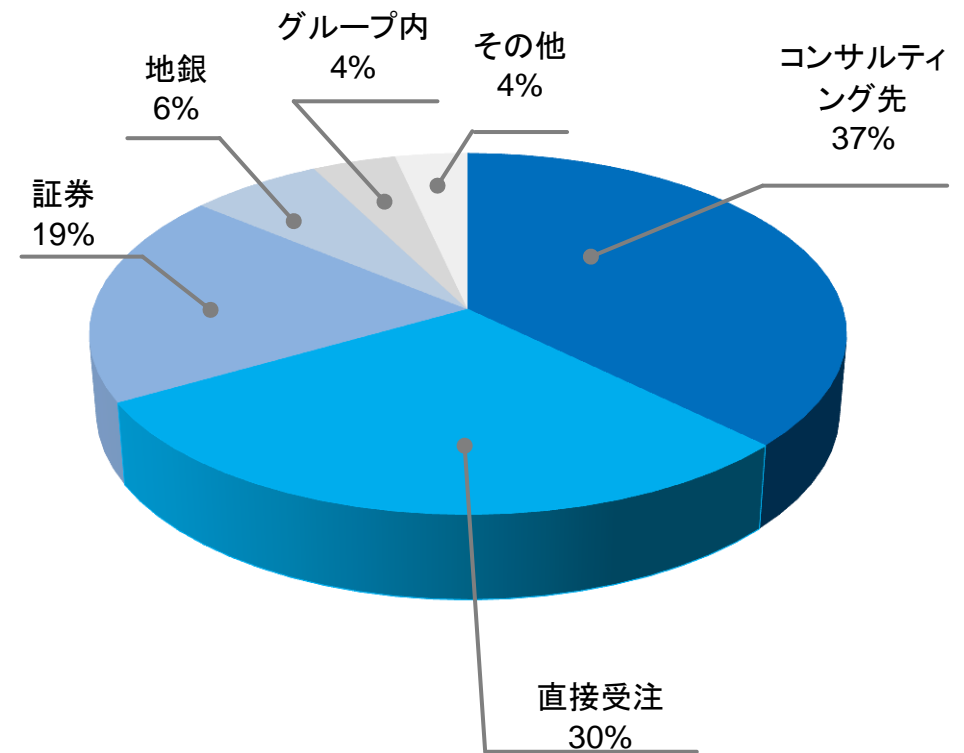
## 2. 経営コンサルティング事業 - M&A -

- M&Aは様々なチャネルから顧客の多彩なニーズに応え、順調に推移
- コンサルティングクライアントをベースとした高付加価値型M&Aを目指す

年次別M&A実績



2018/3月期 チャネル別金額構成比



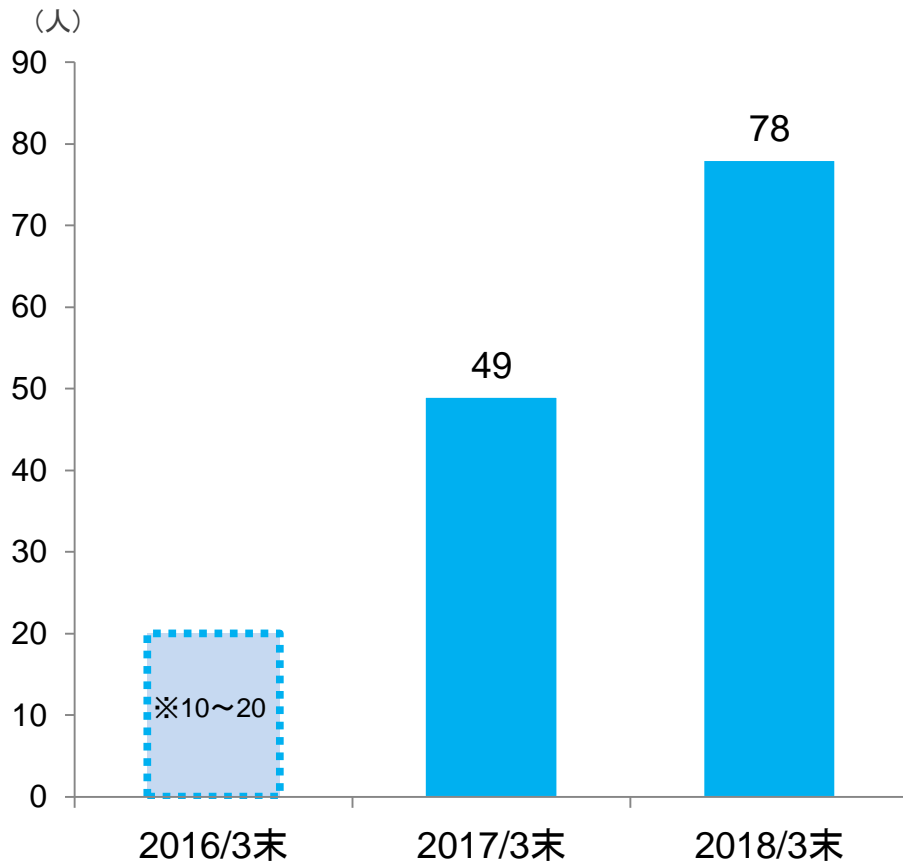
※金額は売上高から共同FA実施者等に支払う金額を控除した売上総利益ベース



## 2. 経営コンサルティング事業 — 働き方改革 —

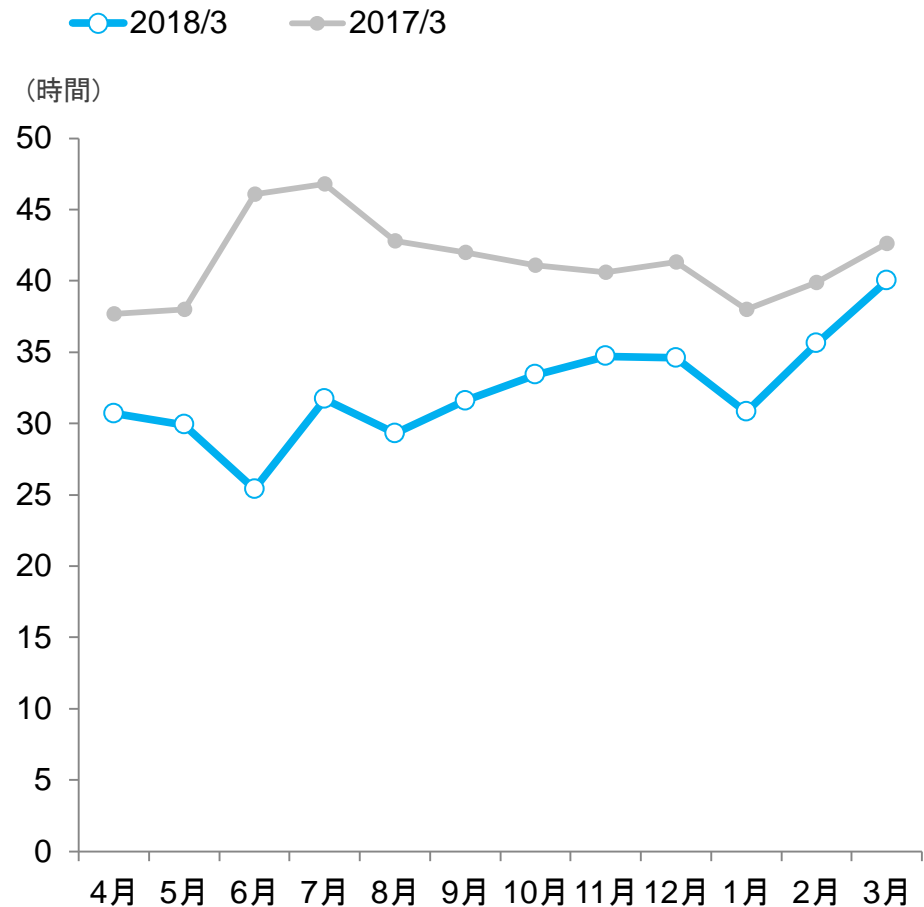
- データ入力や情報分析を中心に行うデータリサーチ(DR)人材の採用を増やし、コンサルタントはより付加価値の高い業務に集中

### DRT(データリサーチチーム)人員推移



※2016/3月期は導入初年度のため、詳細の人数は不明

### 1人あたりの月別残業平均時間 前期比



※経営コンサルティング事業における全社員の人員

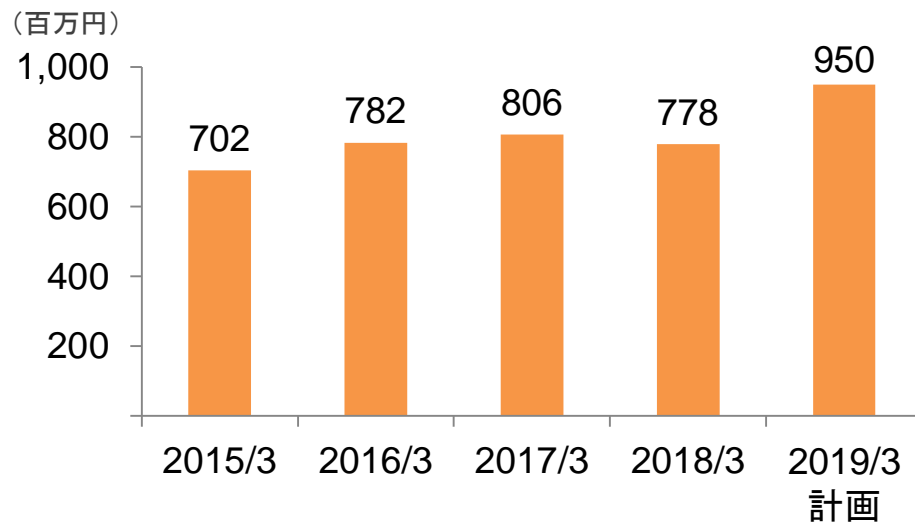
※2017/3月期は、資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の人員は含まず

### 3.不動産コンサルティング事業 - 通期実績 -

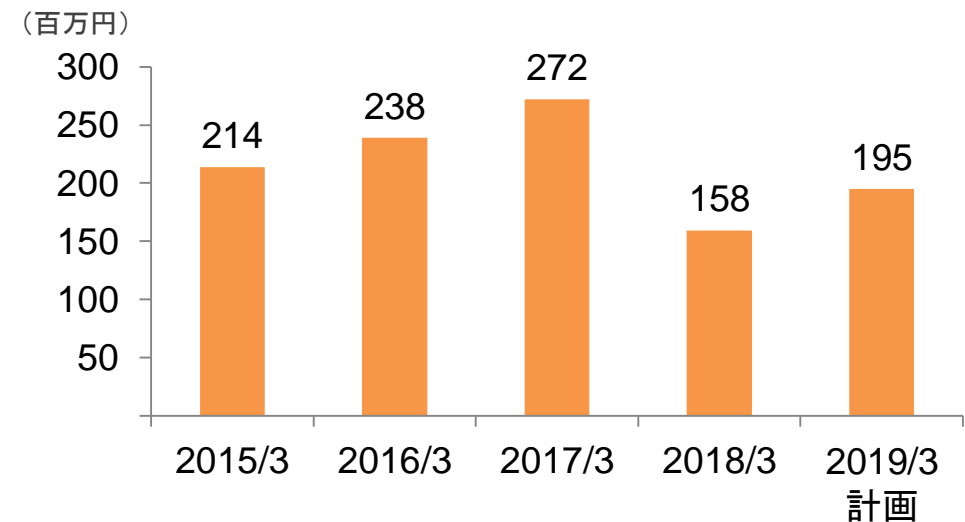
単位:百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2019年3月期 業績予想 (計画)
売上高	806	778	△28	△3.5%	1,000	77.8%	950
売上総利益	606	510	△96	△15.9%	685	74.5%	615
営業利益	272	158	△113	△41.6%	305	52.0%	195

#### 売上高



#### 営業利益



人員	24名	30名	32名	30名

### 3. 不動産コンサルティング事業 — 通期実績状況及び業績予想 —

#### <通期実績の状況>

- ◆ 大型案件の受注件数が少なかったことに加えて、顧客紹介手数料が生じる案件が多く、紹介手数料計上額が増加したことから、減収減益

#### 通期業績予想及び重点施策

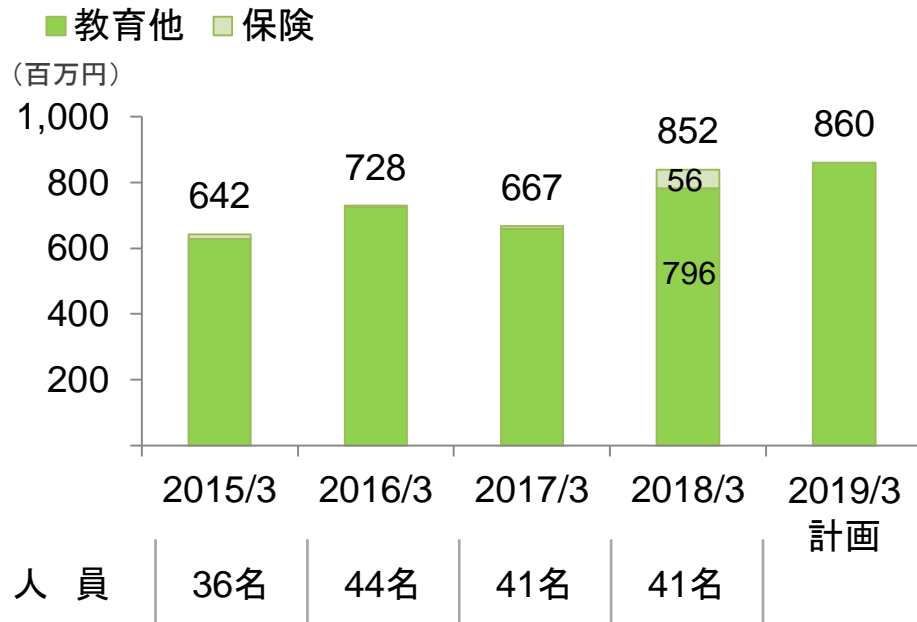
- 営業体制・組織体制の見直し、提携会計事務所への連携強化による案件受注の増加を図る
- 経営コンサルティング事業との連携により、不動産ニーズのある事業承継・M&Aコンサルティングの顧客に対し不動産コンサルティングの提案を強化し、大型案件の受注を図る
- セミナー強化により、新規オーナー顧客、金融機関及び会計事務所のニーズの掘り起こしを図る  
以上により、売上高950百万円、営業利益195百万円を計画
- 不動産に関する総合的な提案ができる「不動産コンサルティング会社」とすべく提案型のビジネスモデルへの転換  
⇒大型案件の発掘・受注を効果的に行うためのアプローチ体制を再構築(富裕層の囲い込み)

## 4. 教育研修事業(FP関連事業) — 通期実績 —

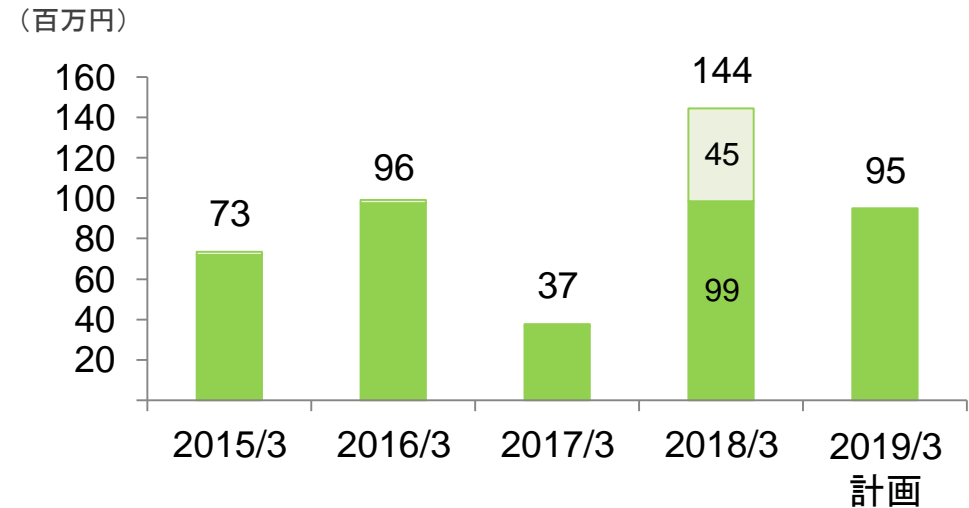
単位:百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2019年3月期 業績予想 (計画)
売上高	667	852	+184	+27.6%	730	116.7%	860
売上総利益	408	533	+125	+30.6%	479	111.3%	500
営業利益	37	144	+106	+283.8%	55	262.5%	95

## 売上高



## 営業利益



※保険代理店業を行う山田ファイナンシャルサービス(株)は教育研修事業(FP関連事業)に分類  
 ※2018/3月期において売上高56百万円、営業利益45百万円計上しているため、グラフ上区分して表示

## 4. 教育研修事業（FP関連事業） — 通期実績状況及び業績予想 —

### <通期実績の状況>

- ◆ 主要顧客である金融機関の社員教育ニーズの高まりから、FP資格取得講座・実務研修の受注が順調だったこと、及び確定拠出年金導入企業に対する研修の実施回数が前期比で増加したこと等から、増収増益

### 通期業績予想及び重点施策

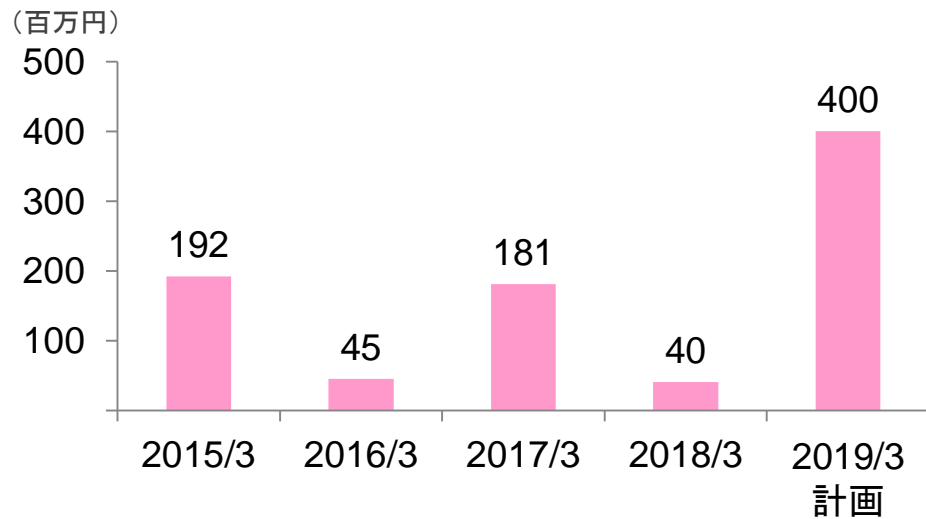
- 2019年3月期も金融機関における顧客本位の業務運営への取り組みから、社員教育ニーズは高い状況
- FP資格取得講座・FP関連の実践実務研修に加えて、ヒューマンスキル・営業スキル研修等を総合的に組み合わせた人材育成に関する総合的な教育プログラムを積極的に提案  
以上により、売上高860百万円、営業利益95百万円を計画
- 「人材育成のソリューションを提案できるコンサルティング会社」とすべく事業基盤の再構築を実施中
- 経営コンサルティング事業との協業  
⇒ 経営コンサルティング事業の営業拠点である金融機関に対し、研修メニューの提案

## 5. 投資・ファンド事業 - 通期実績 -

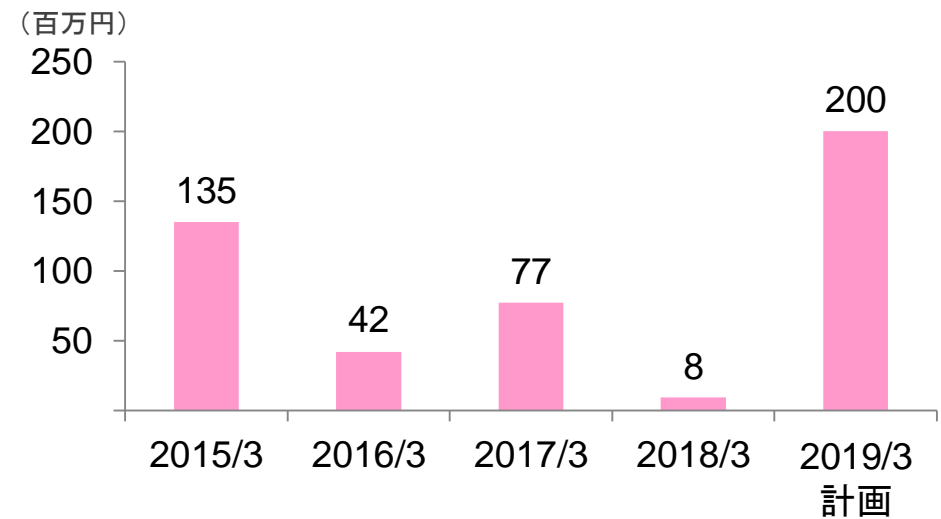
単位:百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	増減額	増減率	2018年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2019年3月期 業績予想 (計画)
売上高	181	40	△140	△77.7%	—	—	400
売上総利益	80	11	△68	△85.3%	—	—	200
営業利益	74	8	△66	△88.4%	—	—	200

## 売上高



## 営業利益



## 5. 投資・ファンド事業 — 通期実績状況及び業績予想 —

### <通期実績の状況>

- ◆ 投資回収案件がなかったことから、減収減益
- ◆ キャピタルソリューション弐号ファンドは、事業承継ニーズの高まりに対応するため、2018年2月にファンド総額を2億円増額
- ◆ 投資実行額563百万円(6件)  
新規投資額505百万円(4件)、既投資先への追加投資額58百万円(2件)

### 通期業績予想及び重点施策

- 現在、事業承継ファンドのキャピタルソリューション弐号ファンド(総額12億円)のみ運営  
2018年3月末投資残高789百万円(6件)
- 同弐号ファンドは、2019年3月期において投資株式の売却実現を見込む  
売上高400百万円、営業利益200百万円を計画
- 引き続き慎重に投資案件を検討

## 6. リスク情報

### 経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩した時のリスク

### 不動産コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 不動産市況の動向

### 教育研修事業（FP関連事業）

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売・FP関連研修の売上の依存度が高い
- 主要顧客である金融機関の業績動向

### 投資・ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク



## ご留意事項

---

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知置き下さい。

## お問い合わせ先

---



山田コンサルティンググループ株式会社

経営企画室 03-6212-2540